

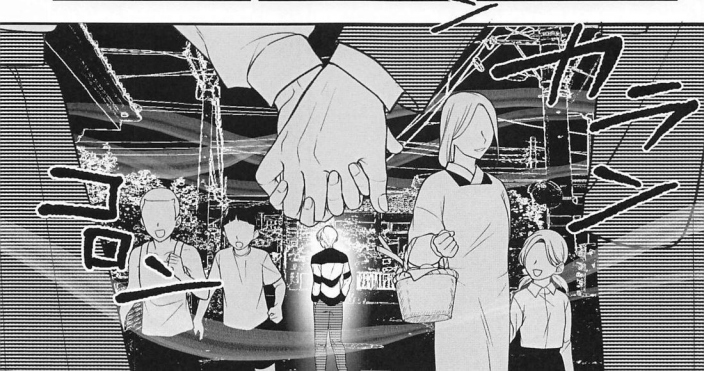


成人向

水木 × ゲタ吉

# 幻覚

pass





ガラ  
ラ  
ラ  
ッ



ただいま  
帰りました



カチャ  
カチャ







たのむ  
ぬいてくれ

きたろう...

かゆくて  
もう...

流石に山芋を  
塗りこむのは  
やりすぎましたか

ああ...



さびしい♡!?



すりゅ♡

ふふ…  
キュウキュウ  
吸いついてら…

真っ赤にはれて  
かあいそうに♥

でもこれも  
お義父さんの  
ためなんです

俺のものは  
これより大きい  
ですから

下ごしらえは  
十分しないと

ねっ！

おおお！  
おおお！  
おおお！





うは♥  
びゅーびゅーでる♥

気持ちいいですか?  
気持ちいいですよ♥



お尻と一緒に  
いじられて馬鹿に  
なりそうですよ♥



ほらほら  
堕ちてください♥

外と内♥  
無様に同時イキ  
晒してくださいよ♥





起きてください

カッ



夜は始まった  
ばかりですよ  
♡

どうしてこんなことに



墓場で赤子を  
拾った



人とは違う  
バケモノの子

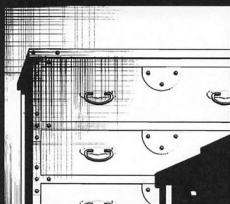
共に過ごせば  
いずれ己の身も  
危ぶまれる



しかし  
そうわかって  
いながら



俺はなぜか  
その赤子を  
捨てられなかった







…それは  
僕を心配して  
言っていますか？

当たり前だろ  
俺はお前の  
父親なんだぞ？

嘘つき





お義父さんが  
手塩にかけて  
育てたんです

俺のちんこ  
美味しいですか？

ちゃんと  
隅々まで  
味わって  
ください  
ね



…感慨深い  
ですね

あのお義父さんが  
俺のちんこ  
啜ってるなんて

さう



愛想はどうに  
尽きてると  
思っていましたから

まさか大手を  
振って俺を  
呼び止めるなんて

再会したときは  
驚きましたよ







はあ？



偽ちゃんぽ  
ぶつさしながら  
何言うかと思えば

なるほど  
どうりで話が  
噛み合わないわけだ

ヒュー♡



ふざけてるん  
ですか？



俺が家を出たのは  
父親面に嫌気が  
さしたから

あんたは  
その謝罪のために  
俺を探していたと…



俺の気持ちも  
あんた自身の  
気持ちさえも

あんたは  
何もわかつちや  
いない

いつも  
そうだった



俺を通して  
誰かを見て

かわりにする



いつも

いつも...!

鬼太郎

やだ

やめ

俺のごとなんて  
見ちやいなかった!!

はっ  
はっ  
なかな  
あつっ…!!

すっかり  
ほぐしておいて  
正解でしたね♡

やだあ…♡

きつ  
きたろっ  
だめっ





気に病む事は  
ないですよ

あんたが俺を  
見ないように



俺もあんたを  
父親として見たこと  
ないんですから……  
♡



…思ったより  
ポルナス  
入ったな

久しぶりに  
鬼太郎と外食  
でもするか



やーい!  
バケモノ!



ほお…?



バケモノは  
学校くんなよな!

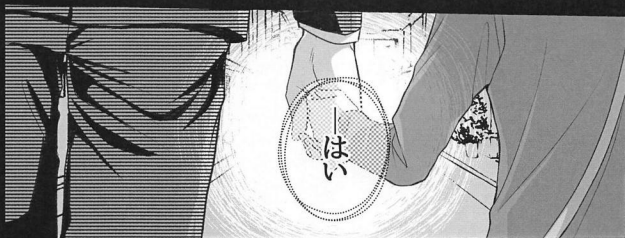


いつも一人で  
こそ話を話して  
気持ち悪いんだよ!









おとうさん

おとうさん

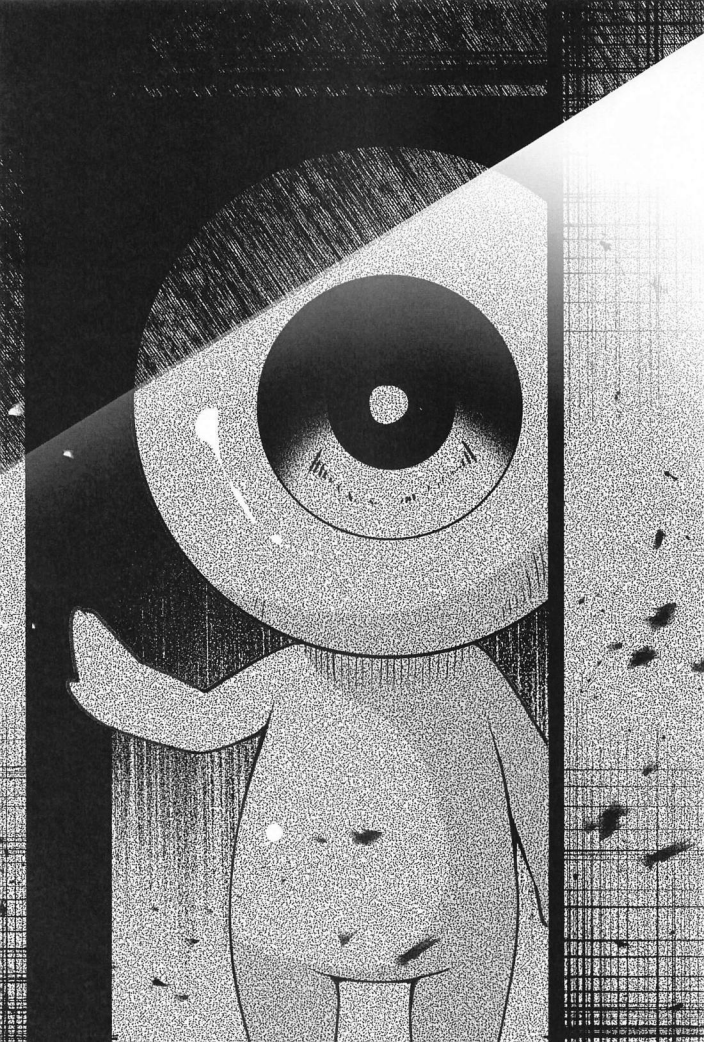
おとうさん















俺はまた  
間違えたのか

## あとがき

この度はゲタ吉×水木本を手にとっていただきありがとうございます！  
まさか子供のころに見ていた鬼太郎というジャンルで同人誌を描くことになるなんて  
思いませんでした。しかも映画関係なしの幻覚絡みゲタ水で…。

ゲタ吉君いいですね…

性格面に関しては描き手によってさまざまなんですけどタイムラインを見ていると  
結構こじれている物が多く大変好みでした。

個人的には

ゲゲ郎←水木←←←ゲタ吉

の三つ巴解釈が好き…互いに互いが報われないこの感じ…  
映画が悪いよ映画が

さて、今回の同人誌の最後「また間違えたのか」というセリフ

こちらは今回のテーマとなる「水木の向けられた感情に対する向き合い方」とかかっています  
こちらからは私の意見と同人誌の解釈が大いに含まれるので  
見たくない人はスルーしてください。

劇場内で水木は沙代ちゃんに対して誠実ではなかったと私は感じました。  
沙代ちゃんの置かれた状況に目を背け、彼女の気持ちにこたえることに(良くも悪くも)  
覚悟を決めることができなかった。そして後悔し、自分ではできなかった、愛する人のために  
全部をなげうったゲゲ郎を尊び…

今回の同人誌水木が鬼太郎に誠実ではなくなったのは、私が映画をみてそういう解釈でも  
いけるのでは…！あれ、萌える…？(闇の腐女子)となったからです。  
そうして彼は鬼太郎を見ようともせず、ゲゲ郎という愛した人と重ねてしまった。  
水木は記憶をなくしたことにより、不本意にもまた同じことを繰り返した彼は「間違えた」と…  
なっていました。すまない水木…ゲタ吉…

こういう描写も書きたかったのですが、時間と時間と時間が足りずにかかせませんでした…  
よくないよ一文章で伝えるのは…

違うんです。私は幸せになって欲しくて…でも映画の延長線上で考えると思った以上に  
むごい話になってしまって  
なんでや…私は幸せになってほしいだけなのに…

# ゲタ水、幸あれ…





SUKINACP9WARIGEN

幻覺

KAKIKOWAKIENBOOK